

地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 教育学部教授
氏 名 姉崎 弘

活動テーマ	三重県における特別支援教育の理解推進と教職員の専門性の向上
実施期間	平成 21 年 4 月 20 日 ~ 平成 22 年 3 月 31 日
活動内容	<p>本地域貢献活動としては、特別支援教育の巡回相談と講演会、さらに特別支援教育に関する公開シンポジウムを開催した。以下に詳述する。</p> <p>まず津市教育委員会の主幹・指導主事と連携して、津市の小学校へ特別支援教育の巡回相談を計 4 回実施した(6 月・9 月・11 月・1 月)。また、津市で特別支援教育の講演会の講師を 1 回実施した(8 月 26 日、安濃町中央公民館にて)。100 名の参加者があった。本地域貢献活動の企画者である姉崎 弘が「小・中学校で気になる子どもの理解と支援の充実」と題して講演した。</p> <p>このような特別支援教育に関する専門家による巡回相談や講演会を通じて、津市の教職員の特別支援教育に対する理解の推進と専門性の向上を図ることができた。</p> <p>さらに、三重県教育委員会特別支援教育室の室長・指導主事と連携して、平成 22 年 2 月 27 日に三重大学講堂小ホールにおいて、「三重県の特別支援教育を推進するために一特別支援教育の現状と今後の課題」と題して、特別支援教育公開シンポジウムを開催した。</p> <p>ここでは、本地域貢献活動の企画者である姉崎 弘が、特別支援教育に関する「基調報告」をまず行い、教育学部特別支援教育講座の 4 名の教員が、それぞれの専門の立場から話題提供を行い、最後に、三重県教育委員会特別支援教育室長の浅生 篤氏から三重県の特別支援教育の現状と課題について、また三重県立特別支援学校北勢きらら学園教諭の水谷和之氏からインクルーシブ教育に関する話がなされた。</p> <p>県下で約 70 名の参加があった。参加者からも、質問や意見が多数あり、三重県の教職員や障害のある子どもをもつ保護者の意識を高め、特別支援教育に対する理解を一層深めることができた。</p> <p>まとめとして、本地域貢献活動は、津市ならびに三重県の特別支援教育の推進・発展に大きく貢献するものであった。来年度以降も、引き続き継続して実施していきたい。</p>
継続希望の有無	有り。来年度も継続を希望します。